

もくじ

- 12月議会のあらまし 2
高齢者生きがいセンター移転先の用地取得を議決
- 一般質問 町政を問う 4
- 委員会レポート 14
パートナーシップ制度の導入へ
坂崎保育園大改修工事始まる
学校体育館の暑さ解消対策などを視察
農地有効活用のソーラーシェアリングなどを視察
常識にとらわれない斬新な発想の広報誌に学ぶ
知識習得すべく美浜町を視察
- あい・らぶ・マイタウン 18



幸田町議会HP

ぎがい

こんにちは
幸田



寒さに負けず元気に走る児童

年頭のごあいさつ



議長
足立 初雄

新年明けましておめでとございませう。

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策の社会的な制限の緩和に向けて、さまざまな議論や取り組みが行われていますが、感染者数はいまだ増減を繰り返しており、油断ができません。状況が続いております。

このような状況下において、幸田町議会といたしましては、町民の皆様一人ひとりがより安全に、安心して暮らせるよう、必要な政策の実現に向けて全力で取り組んでまいり所存です。

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和5年1月



会期 11月29日～12月19日

議案

● 人権擁護委員の人事案件 1件

● 指定管理者の指定、土地の取得、幸田町情報公開条例の一部改正など単行議案 12件

● 補正予算関係 6件
以上、全て答申・可決した。

陳情

5件を審議し、1件を採択とした。

議員提出議案

1件を可決した。

一般質問

9人の議員が町政全般にわたる課題をたずねた。

高齢者生きがいセンター 移転先の用地取得を議決



高齢者生きがいセンター移転先（大草地区内）

土地の取得



高齢者生きがいセンターは、シルバー人材センターの事業拡大により、施設現場が不足しているため、取得予定土地に移転する計画である。

場所 幸田町大字大草字広野23番

2筆

面積 7,228.56㎡

取得価格 2億4,550万1,760円

土地は建物付きだが、建物の価格はいくらか。

建物は無償。土地代のみである。

指定管理者の指定



障害者地域活動支援センター

指定団体 社会福祉法人 愛恵協会

指定期間 令和5年4月1日～令和

10年3月31日

指定管理に「みらい」を盛り込むべきでは。

今後盛り込むようにしたい。

【※みらい】
障害者等の宿泊型
自立支援施設

幸田南部まちづくり交流拠点施設の設置及び管理条例の制定



逆川地区内に、多様な交流活動及び、防災啓発の拠点施設設置に伴い、必要な事項を定める。

ランニングコースの考えは。

光熱水費は町負担。

令和5年4月1日施行

人事案件

・人権擁護委員

千田直美氏 (岩堀区)

答申

陳情

・国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める。

採択

一般会計補正予算
6億4253万6000円追加

可決

歳入(主なもの)

●町税(法人税割ほか)

▲1億4000万円

●国庫支出金(新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金ほか)

3555万6000円

●県支出金(高齢者インフルエンザ予防接種補助金ほか)

8938万1000円

●寄附金(ふるさと寄附金)

6億円

基金繰入金(財政調整基金繰入金)

▲2841万4000円

●諸収入(デジタル基盤改革支援補助金)

489万3000円



健やかな成長を願う

子育て世帯に
一人1万円支給

歳出(主なもの)

●子育て世帯特別給付金給付事業

9432万1000円

高校3年生までの子育て世帯に対し、子ども一人につき、1万円支給。

児童手当対象児童 6500人

児童手当対象外児童 2260人

対象外の方は申請書を発送。

●農林水産業災害復旧費

4000万円

●公共土木施設災害復旧費

3010万円

●ふるさと寄附業務委託料

3億円

●障害者福祉事業

4320万円

自立支援給付費の介護給付費及び訓練等給付費や障害児通所給付費等の扶助費の増加。

希望する施設で、希望する福祉サービスが利用できるか。

利用希望者の特性をみて、利用できるよう支援したい。

●救急医療対策事業

760万3000円

夜間診療所運営維持加算分である。

岡崎医師会への負担金は、今後もあるのか。本町の負担割合は、

一次救急夜間運営維持のため、今後も費用を10%負担する。

●肥料価格高騰対策事業補助金

1000万円

農業者の組織する団体等肥料コスト増加分を補助する。

対象となる農家数は。

200戸が対象となる。

賛否の分かれた議案	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	議長	議決結果 (賛成:反対)
	議員名	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	鈴木 久夫	伊澤 伸一	黒木 一	廣野 房男	丸山千代子	稻吉 照夫	杉浦あきら	水野千代子	笹野 康男	岩本 知帆	藤江 徹	足立 初雄	
陳情第13号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために幸田町独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	—	不採択 (2:12)
陳情第15号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	—	不採択 (1:13)
陳情第16号	保育士配置基準改善を求める意見書の提出を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	—	不採択 (1:13)

※議長は賛否に加わることができません。ただし、賛否同数の場合は、可決・否決を決めることができます。

一般質問

9議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



最近の幸田駅周辺

一般質問事項

質問者	件名	頁
鈴木 久夫	1 三ヶ根駅広場を魅力ある広場に 2 安全安心のために拾石川改修を	5
水野千代子	1 災害時ペット同伴避難所設置を 2 在宅ターミナルケア制度導入を	6
稲吉 照夫	1 火災跡地復興に町の関わり方は 2 子ども会議の発表を議場開催に	7
丸山千代子	1 合葬式墓地公園の取り組みを 2 民生児童委員の業務負担改善を 3 街中ピアノの設置を	8
田境 毅	1 道路標示の維持管理の促進を 2 環境基本計画の理解促進を	9
伊澤 伸一	1 道路埋設物との更新時期調整を 2 計画管理にPDCA手法活用を	10
岩本 知帆	1 キッズページ充実の考えは 2 急用時の子どもの預け先は	11
藤江 徹	1 若者を呼び込む営農促進施策を 2 集客力のある構造の博物館を	12
黒木 一	1 現在のコロナ対応策は 2 子ども会役員の負担は減ったか	13

議会傍聴記・質問議員の顔写真は別撮りしています。

明日に向かって



いなよし けんじ
稲吉 賢二さん

常日頃、関心のある拾石川（地元は天白川）の整備推進と三ヶ根駅前（特に駅西）の整備が質問事項であることから、議会を傍聴させて頂きました。現在、行政がどのような考え又対処しようと考えているかを知るには、傍聴し直接聞くことは、理解を深める機会だと改めて感じました。いずれの事項も長年の課題であり、財政面等を含め色々な課題があり、目指す整備の実現には、まだ先になると感じました。

今後、長期的整備計画に基づき確実に整備が進む政策を望むものです。地元も行政と協同し動くことが必要と考えます。

議会だよりでは、質問と答弁（各30分以内）を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。



議会映像



議事録



鈴木 久夫 議員

三ヶ根駅広場を魅力ある広場に

憩と交流の場となる施設とする



三ヶ根駅や駅前広場は、様々な問題を抱えている。問題解消には、ロータリーや滞留エリアの拡大、屋外トイレや駅へのエレベーター設置、そして、駅前休憩所などの大改修が必要である。駅の利便性を高め、快適な空間の場になるよう早期に着手を。

問 駅西口広場に屋外トイレが必要となるが、規模や場所は。

答 町有地に設置する必要があるから、観光案内板を撤去し、東口広場トイレと同等の規模で検討する。

問 駅のエレベーター設置に時間を要しているが、設置はいつ頃か。

答 令和5年度に、バリアフリー基本構想を策定し、令和7年

度には、事業の着手に努力をする。

問 三ヶ根駅広場と駅前休憩所を、もっと魅力のある場にするために大改修を。

答 環境経済部長▼来町者や住民に親しまれ、そして憩と交流の場となる施設とする。

問 新年度の予算化に向け、改修を具体化させていく決意は。



「NO WAR 平和の祈り」イルミネーション

答 町長▼三ヶ根駅前の改修は、学区まちづくり研究会や、未来会議などの意見を集約し、新年度以降順次取り組んでいく。

安全安心のために 拾石川改修を

下流の河道確保 をし改修に着手

拾石川の改修を進め、同時に河床の堆積土砂を浚渫して、危険個所の解消を。

問 県や町は、拾石川の現状をどの程度把握しているか。

答 建設部長▼県の河川パトロール、区長や災害地区調査員からの情報で把握。

問 河床に堆積した土砂の浚渫は、優先すべき課題だが、今後の予定は。

答 県下の災害発生状況等により、予算配分がされるため、引き続き県に要望する。

問 拾石川に子どもが遊べる親水護岸の計画を。

答 河川改修と合わせ大河橋辺りに、階段を設けた親水ゾーンを県に要望する。

問 今回の豪雨災害で被災した箇所は、速やかに応急処置をされたい。

答 県には、災害復旧の依頼はしており、この濁水期を中心に施工される。

問 住民の安全安心のために、早期に拾石川改修を。

答 逆川の宮前橋前後の用地買収と実施設計が完了した。下流の河道確保をし、改修に着手する計画である。

ことば解説
【※】ペDESTロリアンデッキ

広場と横断歩道橋の機能を持つ高架建築物

答 企画部長▼駅の利便性と快適性が高まるので検討する。

問 学区まちづくり研究会提案のペDESTロリアンデッキ構想があるが、当面は駅階段から雨除け、日除けのテントシエルトの設置を。

災害時ペット同伴避難所設置を



みずの ちよこ 議員
水野 千代子



本町にあった在り方を探究検討



問 災害時は人命が第一であるが、ペットも家族の一員であることから以下を問う。

答 愛知県は令和4年度中に、災害時に飼い主がペットと同じ空間で過ごせる「ペット同伴者専用避難所」整備に向けた調査を行う。その内容は、総務部長▼「大規模災害の被災地での課題や先進事例の調

査」「ペット同行避難対策の推進に向けた検討」「ペット同伴者専用避難施設の検討」の3つで、次年度以降、市町村に展開し検討。

問 各地の被災地で飼い主がペットを理由に避難をためらうケースや、ペットと一緒に車中泊で避難が長引くことで健康面が問題となっている。県内・本町の現況は。

答 県への聞き取りで、屋根のある屋外スペースを確保している自治体が24、屋内は2自治体である。本町は、避難所利用者の理解と協力が前提で、屋外でのペット同行避難は可能としている。今まで利用は聞いてない。

問 町内で飼われているペット数は。

答 犬は狂犬病予防法に基づく登録数2632頭である。他は分からない。

問 飼い主は日頃からペットと一緒に避難できるよう、ペット用避難具等を用意しておく必要があるのでは。

答 適正な飼養や災害時のペット対策を周知していきたい。

問 防災訓練などで、災害時でのペット対応の周知を。

答 町民に広く周知できる機会を生かして普及啓発していく。

問 犬山市は、ペットと一緒に屋内で過ごす「同伴避難所」を導入した。新たに「ペット同伴専用避難所」の設置の考えは。

答 県の事業施策の動向、近隣市町の状況を把握し、本町にあった同伴避難所の在り方を探究・検討する。

在宅ターミナルケア制度導入を

重層的支援体制整備の中で検討

問 愛知県は、将来自分の子どもを産み育てることを望む20歳以上40歳未満のAYA世代のがん患者等が精子や卵子等の採取・凍結温存を行う「妊よう性温存治療」等の費用

助成している。周知を。

答 感染症対策担当参事▼町のホームページや広報こつた等で周知する。

問 自宅で終末期を過ごすがん患者の支援の現況は。

答 健康福祉部長▼医療保険制度や介護保険制度の中のサービスを利用している。

問 40歳以上19歳以下は何らかの支援制度があるが、AYA世代の在宅ケアの支援制度はない。「誰一人取り残さない」ため、制度の狭間にあるAYA世代の末期がん患者の「在宅ターミナルケア制度」の導入を。

答 重層的支援体制整備の中で、一つの支援策として検討する。



いなよし てるお 稲吉 照夫 議員

火災跡地復興に町の関わり方は

民間の計画がまとめれば検討



幸田駅前火災後8カ月が過ぎ、がれき撤去も完了し、復興が待たれる。難問が山積みの中、まちづくりの進め方などを問う。

問 ビューレイ商店街の火災に対する安全性は。

答 消防長▼消防法令上、問題はない。

問 ビューレイのJR側は人も通れないほど建物が密集している。消火活動はできるか。

答 容易ではない。時間が掛かると推測。

問 ビューレイの安全対策も考慮し、火災跡地のJR側、ビューレイとの間に人の通れる道の確保を。

答 建設部長▼土地所有者の開発計画であり、積極的に検討していただきたい。完了

後、町移管が一般的。

問 「被災者の会」で整備手法を示されたが内容は。

答 所有者各自による現状復旧、敷地整序型土地区画整理事業、民間事業者による再開発事業の3案。

問 3案のうち実現可能な手法は。

答 民間での再開発が現実的である。

問 町として、土地取得の考えは。

答 駅前に必要な公共施設の計画がないため、考えていない。

問 火災跡地の測量が計画されている。

答 町の立ち合いは。事態の前進に役立てば考える。

問 芦谷高力線の拡幅の計画が進んでいるが、復興との絡みは。



復興が待たれる幸田駅前火災跡地

答 事業化の確かな担保はないが、歩道が両側に設置など、復興にプラスになる。

問 町として火災跡地復興の関わり方は。

答 町長▼民間の計画や方法がまとまって来た時に検討する。

子ども会議の発表を議場開催に

会議の形式や進め方を検討

小中学生の頃から議会、行政のことを知ることが大切と思う。

問 若い人の投票率が低い、対策の考えは。

答 総務部長▼小中学校や幸田高校での、選挙出前講座を実施。

問 中学生と行政・議会との勉強はでき

ないか。

答 教育部長▼各課職員を招き、社会参画する機会はある。議会のYouTube配信の活用を考えた。

問 現在、子ども会議を開催していると聞いたが経緯は。

答 住民こども部長▼幸田町子どもの権利条例を制定した平成23年度から実施。

問 会議の参加者構成、形式内容は。

答 中学2年生、幸田高校2年生各学校4人、計16人。テーマ別に5人ほどのワークショップ方式。

問 子ども会議のグループ発表を議場で開催できないか。

答 会議の形式や進め方を検討する。

合葬式墓地公園の取り組みを



丸山 千代子 議員



適地選定と周辺住民の理解必要

人口増加に伴い墓地公園の整備要望がある。死亡したあとの遺骨を埋葬する場所が必要であり、住民のニーズに応える合葬式墓地公園の取り組みを問う。

問 時代の変化による家族の形と、お墓事情はどうか。

答 環境経済部長▼子々孫々で継承する墓の在り方や、価値観が変化し、墓じまいや樹木葬、海への散骨など多様化してきている。

問 共同墓地での墓じまいは。

答 5年間で26件あった。

問 永代供養や樹木葬などの把握は。

答 新しいスタイルで公営の墓園でも取り入れられている。

問 住民のお墓に対するニーズ調査を。

答 住民意識調査に盛り込む調整をする。

問 県内で長久手市が合葬式墓地公園を整備した。幸田町でも合葬式墓地公園の取り組みを。

答 適地選定と周辺住民の理解が必要。新たな墓地公園構想を再検討する時に検討。

民生児童委員の業務負担改善を

影響の少ない活動など見直す

問 民生児童委員の定数と欠員は。

答 健康福祉部長▼3年前の46人から1人増の47人。欠員1人。

問 民生児童委員の活動の状況は。



長久手市が整備した墓地公園

答 年間で123日。子どもの貧困や虐待、ひきこもり、家族と疎遠の高齢者など、解決が難しいケースが増えているのが課題。

問 担い手不足解消のためにも、活動費の見直し、多岐にわたる民生児童委員の業務負担の改善を。

答 民生児童委員の尊厳に最大限に配慮しつつ、軽減しても影響の少ない活動など見直す。可能な限りの行政からできるサポートをしていく。

街中ピアノの設置を

まちの文化芸術であり研究する

ストリートピアノは空港、駅、街中など公共の場所に設置され、誰でも自由に弾ける状態のピアノの通称。県内でも広がっている。街中ピアノの設置を。

問 日本初のストリートピアノは鹿児島一番商店街。効果は。

答 企画部長▼商店街と地域の活性化につながることを目的とし、新たなコミュニケーション形成の効果があった。

問 県内で31カ所。岡崎市も設置する。ストリートピアノはなぜ増えたと思うか。

答 開放的な場所、弾く人も聞く人も全ての人が平等に、自由にピアノを楽しめ、五感に訴えることが受け入れられ普及した。

問 自由に楽しめる街中ピアノの設置を。

答 まちのにぎわいと創出から、まちの活性化に適した文化芸術であり研究する。



たきょう つよし 議員
田境 毅

道路標示の維持管理の促進を

1・2級町道を中心に進める



安全運転サポート機能は本格的に普及し、交通事故撲滅に寄与。環境整備が期待される。

問 安全運転サポート機能に必要な道路標示の維持管理の促進を。

答 建設部長▼将来的に新技術対応が予想される、1・2級町道を中心に進める。

問 自転車レーン設置の課題と進捗は。

答 道路には十分なスペースが無い。令和2年度、町道錦田幸田1号線、約560mの自動車と自転車・歩行者の分離工法を実施。

問 歩車分離が可能な道路幅確保、国道設置の考えは。

答 都市施設の整備方針に継続して取り組む。自転車レーンも、

県に積極的に協力する。

問 歩道整備計画立案をすべき。考えは。

答 交通弱者の頻繁な通行が見込まれる病院、スーパー、駅、学校付近などに絞ってエコック、整備する。

問 町道よりも奥から生える高木の枝が増加している。問題が早い段階で把握できる体制や運用の

考えは。

考えは。

答 道路情報収集システム先進事例も参考に、早期の問題把握に努める。

問 事業者が進出する場合、地元とWin・Winになるための場を検討する考えは。

答 環境変化に伴う影響が特に著しい案件は、開発行為の指導に関する要綱に基づき指導していく。

環境基本計画の理解促進を

民間イベント出展等協働・連携

問 環境基本計画の理解促進をどのように進めるのか。

答 環境経済部長▼一方通行的な情報発信にとどまらず、民間イベント出展等、生の声を聞き協働・連携体制づくりを考えたい。

問 地球温暖化への対応・取り組みは。

答 新年度、実行計画の検証。令和6年度、第4次実行計画の策定。策定は関係各課が参画、中間で実績の検証などしたい。

問 学校のLED照明切り替えで、丁寧な声の吸い上げを。

答 教育部長▼不具合があるならば、環境改善策を講じたい。

問 事業者支援を検討する考えは。

答 支援策の情報発信を積極的に行う。

問 対応に地域格差が生じないゴミ出し難民防止施策に対し、課題抽出の考えは。

答 実態などを把握し検討したい。町全体の問題と認識し、先行自治体を研究したい。

問 子育て世帯にやさしい公園環境、公園整備に対する考えは。

答 住民子ども部長▼ちびっ子広場新設遊具は、区長を通じ地元要望を確認し決定。建設部長▼再開発事業や大きな工場移転・撤退などあれば検討したい。都市公園の遊具更新は魅力ある遊具を考えたい。



外側線が消えた町道



伊澤 伸一 議員

道路埋設物との更新時期調整を

埋設物設置者と情報を密にする



道路標識が樹木で見えなくなった町道

超高齢化の進展により、社会保障費など義務的経費は増え続ける中、暮らしと経済を支える道路などのライフラインは、安全に維持していかなければならない。

問 町が管理する橋梁の、点検結果は。
答 建設部長▼276橋を5年1サイクル

ルで点検。令和3年度には63橋を近接目視で実施し、5橋が判定区分3の早期措置段階と判定された。

問 早期措置段階の5橋の改修計画は。
答 広田川の改修に合わせて施工が1橋、その他4橋は令和8年までに改修予定。

問 台帳漏れ橋梁がないか、一斉点検を。
答 農道管理者とも情報交換し、見直しをかける。

問 道路照明等の点検はどうしているか。
答 令和3年までに全ての道路照明灯を目視点検した。

問 案内看板などの占用户にも、点検を周知すべきと思うが。
答 事故被害防止のため、工作物の管理者に周知する。

問 令和6年度から、愛知県は街路樹の管理を改めるが、町は。
答 安全性、維持費面からも低木等への転換も選択肢の一つとして検討する。

問 河川愛護作業など、住民参加の活動用に貸与する自走式草刈

機を導入しては。

答 ラジコン自動式草刈機を土木課親切班に導入し、貸与の範囲や対象施設を今後検討する。

問 コスト削減等のため、舗装工事の際には、上下水道など道路埋設物との更新時期調整など、道路工事の一体的マネジメントを行う考えは。
答 町長▼道路地下埋設物設置者と情報を密にし、システムのなりすくマネジメントを行う。

計画管理にPDC
A手法活用を

検証して継続的
な改善が重要

行財政運営のために多くの計画がある。行政計画の、進捗管理を問う。

問 部門別行政計画の達成状況の把握と、町民にどのように伝えるか。
答 副町長▼所管課で進捗状況を把握し、ホームページ等で知らせている。

問 すべて計画の進捗、評価が報告されているか。
答 すべての公表は難しいが、できる範囲で報告する。

問 計画の進捗管理をPDC A手法を活用して改善、実行へと結んでいけば、よい行政ができると思うが。
答 各所管課で構成した委員会や、協議会等の委員の意見も求めている。達成状況を評価・検証し、継続的な改善を行うことが重要と考えている。



岩本 知帆 議員

キッズページ充実の考えは

システム構築方法を検討



町のホームページで効果的な情報発信を。

問 公式LINEの導入の考えは。

答 企画部長▼研究し、前向きに検討。

問 キッズページ充実の考えは。

答 ふるさと幸田町に対する関心を持ち、郷土愛を育む一助にもなると考え、システム構築方法を検討したい。

問 AIチャットボットの利用状況は。

答 ホームページの閲覧は、月2万件中1%未満ときわめて低い。

問 情報のアップデートはどのように行っているか。

答 質問内容を所管に照会し回答を得て、月に1回程度実施。

問 対象者に合ったデザインやレイアウトをどのように意識して、作成しているか。

答 各担当の考えで作成。

問 広報活動の専門アドバイザーや勉強した職員間の知識の共有は。

答 所属部署全体で共有できる仕組みづくりを検討。

急用時の子どもの預け先は

ファミリーサポートの利用を

安心して出産子育て出来る環境を問う。

問 公立保育園の受け入れ月齢は。

答 住民ごども部長▼おおむね10か月。

問 今後、受け入れ年齢の見直しは。

答 受け入れ態勢も踏まえつつ、検討。

問 町の待機児童数は。

答 令和4年10月1日現在、0歳8人、1歳1人、2歳1人。

問 待機児童解消の為、保育施設の増加の予定は。

答 令和5年に2園の地域型保育事業施設が開設計画。

問 現在の一時保育の状況は。

答 生後6か月から就学前までの、町内在住の保育所に入所していない児童を、家庭の事情により預かる。利用数は増加傾向。

問 一時保育の利用方法は。

答 初回はごども課に申し込み、以後は保育園で面接し翌月の利用予約をする。

2回目以降は保育園に申し込む。

問 急用時に子どもを預ける場所は。

答 一時保育は現状いっばい。上六栗にあるファミリーサポートセンターを案内している。

問 ファミリーサポートの利用状況は。

答 依頼会員と援助会員のマッチングには比較的余裕がある。

問 急な用事が出来た時でも利用可能か。

答 依頼会員と援助会員のマッチングが出来れば可能。当日依頼は難しいこともある。

問 生後3か月未満児の保育は可能か。

答 職員の体制などを見極めながら可能性を探っていきたい。



ファミリーサポートセンターの一時預り



藤江 徹 議員

若者を呼び込む営農促進施策を

関係機関と連携して進めていく



農業従事者は減少と共に高齢化が進んでいる。農業に対する面白味と収入アップで若者を呼び込む施策について、筆柿を例に問う。

問 農業従事者と柿部会員の平均年齢は。

答 環境経済部長▼町内の、基幹的農業従事者は令和2年度69・1歳、5年前68・4歳。柿部会員は令和4年で70・3歳、7年前65・6歳。

問 更なる消費者受けする筆柿レシピの開発計画は。

答 今後も大衆受けする商品の開発を、積極的に進めていく。

問 小学生から提案された筆柿レシピコンクールなど、開発促進イベントの企画は。

答 小学生を対象とし、実現に向けて内容



家族で収穫する「こうた筆柿応援隊」

・方法など検討していく。

問 超高級筆柿（高糖度・種なしなど）の革新的新品種開発を、産官学で、儲かる筆柿づくりのために検討する案はどうか。

答 筆柿の大玉化の取り組みを行っている。品種改良は難しい現状があるが、継続して検討していきたい。

問 ナスや他の農産物の農地で、収入増になるソーラーシェアリング事業の支援を検討する考えは。

答 農家にとって省力となる「こうた筆柿応援隊」の、今後更なる拡大の考えは。農家へのボランティア、農繁期の支援をする方の増加を目指す。今後拡大できるように進めていきたい。

討する考えは。

答 先進地事例や国の動向を注視しながら、関係機関とも連携し、情報収集を進めていきたい。

問 農業全般に見て、若者を呼び込む営農促進施策を。

答 新規就農者が農業のみの所得で暮らしていくことを目指し、持続可能な営農ができるよう、関係機関と連携して進めていきたい。

集客力のある構造の博物館を

重要文化財級も展示を検討

町民が郷土の歴史を知り、現在の幸田町の良さに興味を持って接することができる博物館は、町民にとって有用であり、新たな魅力発信ともなる。

問 新郷土博物館の建設に向けた検討の進捗状況と、いつ頃に原案をまとめるのか。

答 教育部長▼令和3年度に幸田町郷土博物館検討委員会を立ち上げ、候補地はハツピネス・ヒル・幸田敷地内が最適との意見で現在まとまっている。令和5年度に基本構想の策定に向けて、方向性などを決めていく。

問 町外流出の貴重な文化財の返還を求める予定は。

答 新郷土博物館の環境を整えることによって、可能になる。

問 博物館建設は、集客力のある構造に。

答 重要文化財級のものも展示できる機能を持たせた博物館を検討、造っていきたい。



黒木 一 議員

現在のコロナ対応策は

国・県の方針に沿った対策実施



町が主催するイベント、講演会等を開催するに当たって、新型コロナウイルス感染症対策を問う。

問 現在のコロナ対応策は。

答 企画部長▼いずれの事業も国・県の方針に沿った対策を実施。併せて各会場での基準等に従い実施。

環境経済部長▼対策本部会議の意見等に基づき、出席者の間隔を離す等の対策を徹底。

教育部長▼感染拡大予防ガイドラインを参考に、主催団体にアルコール消毒・検温等の徹底の呼びかけ実施。

消防長▼基本的な感染防止対策として、参加前の検温、マスク着用、手指消毒、入場制限による規模縮小、開催時間の短縮等実施。

問 実施後の問題点や改善対策等は。

答 企画部長▼基準に合わせたコロナ対策をし、慎重な対応を実施。結果として、特に大きな問題の発生はなく、今後も国・県の方針と、感染者の状況に沿った対応をする。

環境経済部長▼指針等に基づき慎重を重ねた結果、特に大きな問題や課題は確認されなかった。今後、対象者が少ないセミナー等はリモート方式での対応

も選択肢である。

教育部長▼エキサイトして時々大声を出す場面あり。注意喚起に努め、感染予防に取り組む。

消防長▼安全性を確保出来ているか検討した上で実施しており、苦情や大きな反省となる課題はない。

問 今後の対応策で今一番必要な事は。

答 企画部長▼基準を満たす体制を整え、臨機応変に対応してい

くことも必要である。

環境経済部長▼最大限の対策を徹底した上で、開催または延期・中止を慎重に判断していく。

教育部長▼ガイドラインに基づいて感染予防対策を徹底していく。

消防長▼コロナ対策が引き続きようであれば、その対策を基本とし開催する考えである。

問 町民への呼びかけ、取り扱いの周知は。

答 企画部長▼住民への丁寧な説明に心がけ、コロナ感染対策措置の周知徹底を図る。

環境経済部長▼広報こつた、町ホームページ等で周知する。

教育部長▼広報誌、ケーブルテレビやガイドブック、開催チラシ等で周知徹底を図る。

消防長▼今後も感染症対策を施し、可能な形で実施する。

子ども会役員の負担は減ったか

コロナ禍での軽減に取り組んだ

3年前の質問以降、子ども会活動についてどのように進めたのか。

問 役員の負担は減ったのか。

答 住民こども部長▼コロナ禍での負担軽減に取り組んできた。

問 子ども会専用広場の建設と全体イベント開催の構想は。

答 住民こども部長▼より効果的に何ができるか、研究している。

町長▼場所づくりの基本的な方向性を、真剣に考えたい。



コロナ対策を万全に

総務教育委員会

協議会
11月14日

パートナーシップ制度の導入へ

誰一人取り残さない
多様性社会の実現を目

指すため、本町もパ
ートナーシップ制度を導
入し、LGBTQの人
たちが抱える困難の解
消に取り組む。

制度のスタートは、
令和5年7月を予定。

問 届出（宣誓）した
人のメリットは。

答 病院への付き添い、
アパート入居など
利便性ができる。

問 近隣自治体の取り
入れ状況は。

答 岡崎、蒲郡、西尾
の各市で、それぞ
れ実績もある。

町職員の定年を
65歳まで引き上げ

令和5年度から2年
に1歳ずつ65歳まで引
き上げる。役職定年は
60歳を基本とする。

問 60歳以降の給与は
どうなるか。

答 それまでの7割を
水準に設定する。

相見駅東口1階に
防災備蓄倉庫設置

問 備蓄倉庫の目的と
備蓄品の収容量は。

答 大規模災害時、駅
に留まる帰宅困難
者500人分を備蓄。

問 今後の駅に設置
する予定は。

答 三ヶ根駅、幸田駅
と順に設置する。

(その他7項目を協議)



相見駅防災備蓄倉庫

相見駅東口の防災備蓄倉庫

福祉産業建設委員会

協議会
11月7日

坂崎保育園大改修工事始まる

坂崎保育園は、昭和
63年の改修以来34年が
経過、老朽化も著しい
ため大改修により、施
設の長寿命化を図るも
のである。

問 工事の進め方の注
意点は。

答 子どもたちの動線
を考えながら進め
ていく。

正門の門柱撤去工事
は大きな音が出るので、
休園日に実施した。
また、工事完了まで
は西門を利用した。

問 門柱の撤去後の土
地利用は。

答 駐車場のな利用も
含め、園とともに
考えたい。

問 園にふさわしい入
口を造ってほしい
が。

答 坂崎保育園の文字
は壁に残っている。
少し重い扉で、子ど
もが外に出ていかない
よう、安全面も考えて
いきたい。

(その他9項目を協議)



大改修中の坂崎保育園

行政視察
10月5～7日

学校体育館の 暑さ解消対策などを視察

令和4年10月5日から7日にかけて、幸田町の喫緊の課題である学校体育館の暑さ対策、空き家の利活用、公共交通システムの在り方など、参考となる施策をしている2市1町を訪問した。

10月5日

大阪府島本町 第4小学校体育館 の暑さ対策

大量の冷たい風を吹き出す強力スポットエアコン「スポットバズーカ」を、体育館の四隅に設置して冷風を循環させ、人の背の高さくらいを目安に館内を冷やすようにした。

夏場など暑さで外では危険な時に、安全で快適な環境の中で、児童生徒が体育館での授業や部活動が出来るようになった。



スポットバズーカの冷風を体感

同機器は移動も出来、授業内容などにより、有効な場所へ移す事が出来る。他に住民の一般利用や、災害時の避難所としても使われ、利用者の感想は、音も気にならないなど、概ね好評であった。島本町では、町立の4小学校、2中学校に設置している。幸田町の小中学校体育館にも、是非欲しいものである。

10月6日

奈良県生駒市 空き家流通促進事業



空き家を利活用した学童保育所

全国初のオーダーメイド空き家対策、「プラットフォーム」を構築して、空き家の流通促進を図った事業である。

所有者から空き家情報を得て、民間業者で構成される「プラットフォーム」へ提供し、物件ごとに流通に向けた支援方法を検討する仕組みである。

毎月1回不動産団体や学識経験者、市担当で空き家流通促進検討

会議を行っている。令和4年9月現在、取り扱い件数111件、成約件数は60件と成果を上げている。情報提供した所有者の意向に応じた支援策を「プラットフォーム」が真剣に寄り添い成果を出している。

空き家の利活用にも多様性があり、福祉施設や地域交流拠点などにも利用している。空き家が民間学童保育所になったのが良い例であり参考になりたい。

10月7日

兵庫県西宮市 コミュニティ交通 の取り組み

関係諸団体や専門家を派遣して話し合いを始め、具体化してきた。実際に試験運行を重ね、地域の人に便利さを知ってもらい、ルートや便数、運賃の設定を行っている。運賃は、大人300円こども200円。公共交通は高齢化などもあり、その必要性は増々高まっていく。幸田町の公共交通も町の皆さんの声を聴きながら、いま一度あるべき姿を考え、みんなが喜んで利用してもらえるものにならなければならない。

西宮市のコミュニティ交通の導入は、地域の人達が必要性を感じ、自ら協議会を立ち上げてスタートしている。それに対し自治体が



福祉産業建設委員会

行政視察
10月24～26日

農地有効活用の ソーラーシェアリングなどを視察

令和4年10月24日から26日まで、農地の有効活用、補聴器購入補助金制度、公園にカフェ店誘致、浄化センターなど、課題解決に向けての知識を得るため、3市1町を訪問した。

10月24日

神奈川県小田原市
小田原かなごて
ファーム

「原発ゼロ、自然エネルギー100%社会を創る」ことをテーマとして取り組み、第一次産業（農林業）の復活に照準を定め、ソーラーシェアリングを考案した。

農地で作物を作りながら発電し、地産地消にこだわったプロジェクトである。

売電、ミカン栽培、米作りだけでなく、日本酒、ジュースの製造

も手掛けている。また、林業の問題にも取り組んでいる。



畑に設置されたソーラーパネル

10月25日

静岡県長泉町
長泉町役場

●補聴器購入費助成金の利用状況は、令和4年度行った見直しで、申請実績が大幅に増加。

●子育て支援全般では、人口増加率2・4%は県内1位。

町としていろいろな政策に力を入れており、特徴的な施策として、

10月26日

静岡県浜松市
浜松城公園

①未来人定住応援事業奨励金②定住のための新幹線通学支援補助金③こども交流センター（パルながいずみ）開設。



幸田町で検討中の中央公園にカフェ店誘致の進め方を学んだ。

浜松城公園では先ず、公園の景観を壊さない、



浜松城公園内のカフェ前で

出店後10年は継続することなど、4出店希望者と公園管理者が数年かけて、検討を重ね、1店を決定した。

カフェは公園の木々に溶け込み、建物を設置時に伐採した木を利用したドアの取っ手など、自然に対する配慮を感じた。

敷地使用料は固定資産税程度、公園の駐車料はカフェ利用者には無料。

愛知県田原市
赤羽根浄化センター

幸田町においては、蒲郡市と共同で下水へ接続する計画が決定していることから、大いに参考になった。説明を受けた後、現地視察を行った。

●し尿等受入施設の臭気対策
●し尿処理は、直営。
●施設の管理は民間へ委託。
●人員体制は、管理棟に、職員5人（正規2人、非正規3人）。



し尿投入システムの視察

議会広報特別委員会

行政視察
10月20～21日

常識にとらわれない 斬新な発想の広報誌に学ぶ



10月20日

長野県辰野町
議会広報を学ぶ

読み物から見ると、
にという編成方針で、
手に取ってもらい、分
かり易い紙面を目指す。
表紙や記事など横書
きにするなど、従来の
考えにこだわらない、
合理的な考えで進めら
れている。
記事作成や校正など、
積極的なパソコン活用
によるデジタル化で、
効率化が進む。常識に
とらわれない斬新な発
想での広報誌に学んだ。

10月21日

長野県富士見町
議会広報を学ぶ

編成方針として、議
会広報をまず手に取っ
てもらうには、表紙が
最重要だとしている。
写真は富士見町フォト
コンテスト入選作品か
ら採用し、インパクト
のある表紙にしている。
「議会満足から町民
満足」「主役は町民」、
多くの町民が顔写真付
きで登場する。
両町とも、議会だよ
りへの熱心な取り組み
は、参考になった。

議会基本条例制定特別委員会

行政視察
10月28日

知識習得すべく 美浜町を視察

美浜町議会は、行政
の情報伝達および、議
会の説明責任を果たせ
る基本条例の制定をし
ている。

一般質問での反問権
を定めたことにより、
根拠と質問の趣旨を分
かりやすくするため、
以前よりも議員自身が
しっかり情報収集し、
質問の質が上がった。
議員は、町民に分か
りやすく議会情報を伝
えるため、委員会など
での発言が増加した。

【主な意見交換内容】

問 特に重点をおいた
項目は。

答 主に4点。①議員
問での自由な討議
を明記②町民と議会と
の対話集会を開催③政
策形成過程の説明書④
反問権の明記。

問 条例の目的達成を
検証する体制は。

答 年度末までに議会
運営委員会で検証。

問 町民との対話集会
の実績は。

答 令和4年5月29日
日曜日、町総合体
育館サブアリーナにて
開催。主な内容は、各
委員長より議会の審議
・審査、議会活動およ
び町政に関する報告、
質疑応答および意見交
換。90分間とした。

【所感】

一時間にわたり、本
音の意見交換を通じ、
有意義な場となった。



忌憚のない意見交換

みんなが笑顔になるために

幸田中学校2年
ひらいわ まり
平岩 茉莉さん



私の将来の夢はトリマーになることです。あるテレビで「保護された犬たちをきれいにし飼主を見つける」という番組を見ました。私は登下校時や塾に向かう際に野良犬をよく見かけます。私の祖母は元野良犬を飼っていて、その子はとても幸せに暮らしています。祖母のように動物を救うことは不可能ではないと思います。

トリマーになることができれば、身に付けた技術を生かして動物たちを救いたと思います。保護の際に直面する狂犬病等の課題に正面から向き合い、動物とその動物によって困っている人々を救えるようになりたいです。



大好きなふるさと幸田町

深溝小学校5年
かなだ やすたか
金田 康孝さん



ぼくは幸田町が大好きです。ぼくが幸田町のことで特に自まんしたいことは三つです。

一つ目は景色が美しいことです。星空がきれいなキャンプ場に行ったとき、幸田町も全然負けていないと思いました。二つ目は自然が豊かなことです。カブトムシ、カマキリやトンボなど、いろいろな虫をつかまえることができます。虫が好きならばぼくにとってはパラダイスです。三つ目は名産品がおいしいところです。ぼくは特に筆柿が好きです。えこたんもかわいいです。

これからもずっと大好きな幸田町であってほしいです。



まきの つぎお
絵：牧野次男さん（芦谷）

議会広報特別委員会

委員長 稲吉 照夫

副委員長 都築 幸夫

委員 水野 千代子 藤江 徹 廣野 房男
黒木 一 鈴木 久夫 田境 毅

幸田町議会だより No.187 2023.1.26発行

発行・編集 ● 幸田町議会 議会広報特別委員会
発行責任者 ● 議長 足立 初雄
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1
TEL (0564) 63-5151 FAX (0564) 63-6970
Eメール gikai@town.kota.lg.jp
幸田町ホームページ http://www.town.kota.lg.jp/

議会を傍聴してみませんか

【場所】 役場5階

【時間】 午前9時から

【3月定例会の予定】

2月28日(火) 開会、議案の説明
3月 2日(木) 一般質問
3日(金) 一般質問
8日(水) 議案の質疑
9日(木) 議案の質疑
13日(月) 予算特別委員会
14日(火) 予算特別委員会
16日(木) 福祉産業建設委員会
17日(金) 総務教育委員会
22日(水) 議会運営委員会
27日(月) 討論、採決、閉会

議案、一般質問、質疑については、幸田町議会ホームページで随時公開していきますので、ぜひご覧ください。

詳しくは議会事務局へ TEL63-5151 (直通)